

**株式会社誠和と農業分野における連携に関する協定を締結します
～農業の担い手の確保・育成やスマート農業の推進を加速化します～**

千葉市と株式会社誠和は、農業者の確保・育成および農業技術の普及に係る連携に関する協定を締結しますので、お知らせします。

また、同協定の締結式を行いますので、併せてお知らせします。

1 連携協定の目的

千葉市は、農業を次世代へと継承し、発展させるため「農業の担い手の確保・育成」や「農業の成長産業化」に向けて、「新規就農者の育成」や「農業法人の参入促進」、「スマート農業技術の推進」等に取り組んでいます。

株式会社誠和には、これまで「千葉市 SDGs 対応型施設園芸推進協議会」の構成員として、「スマート農業技術の推進」に係る農業のデジタル化、また、本市農業の脱炭素化等の取り組みにおいてもご協力いただいていたところです。

本協定は、千葉市と株式会社誠和が農業者の確保・育成および農業技術の普及に関して連携し、両者の資源、ノウハウを有効に活用して新規就農者の確保・育成や農業者の技術力向上、農業技術の普及拡大を行うことで、千葉市農業基本計画に掲げる基本目標「農業の持続性を高め、100年先の未来に農業と食をつなぐ」の達成に寄与するものです。

2 連携事項

- (1) 新規就農者の確保と育成
- (2) 千葉市外および農業以外の分野からの農業参入
- (3) 農業者の技術力向上
- (4) 農作物栽培の研究・試験
- (5) 農業技術の普及拡大

3 協定締結式

- (1) 日時
令和7年3月25日（火）11：30～12：00
- (2) 場所
市役所高層棟4階 市長応接室
- (3) 出席者
株式会社誠和 代表取締役 おおで ひろのぶ 大出 浩睦 様
千葉市長 神谷 俊一

<参考>

1 株式会社誠和について

株式会社誠和（本社 栃木県下野市柴262-10）は、1968年に創業した施設園芸用の環境制御機器、養液栽培システム等の製造、販売等を行っている施設園芸業界の先駆的総合メーカーで、トマトやイチゴ等の施設栽培に関する知識・技術、新規就農者を育成するプログラム等を有し、「魅力があり夢が描ける農業社会創り」に取り組んでいます。

2 千葉市 SDGs 対応型施設園芸推進協議会について

ハウスを使用して冬に作物を栽培する施設園芸では、冬季に重油などの化石燃料を使用して加温する工程が不可欠ですが、SDGs を推進する上で、持続可能な開発目標への対応が必要です。そのような状況の中、千葉市で生産の盛んなイチゴの生産者が中心となって「千葉市 SDGs 対応型施設園芸推進協議会」が発足しました。本協議会では燃油の使用量を削減しながら、イチゴの収量や品質を向上させることを目標に、実証実験や検討会などさまざまな取り組みを行い、千葉市内外に向けて取り組みを発信してきました。

現在は、トマトの生産者も新たに加入し、トマト栽培における燃油使用量削減や再生可能エネルギーを活用した実証にも取り組んでいるところです。

○市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/keizainosei/nosei/center/seisanshinko/chibacitysdgs.html>

